

現行計画の構成 (約 110 ページ)

序章 計画改定に当たって 10P 程度

- 1. 計画の改定にあたって
- 2. 緑の定義と機能
- 3. 計画の枠組み

1章 あまがさきの緑を知る 25P 程度

- 1. 尼崎市の概況と特性
- 2. 尼崎市の緑の現況と前回計画の進捗状況
- 3. 緑に対する市民意識
- 4. 尼崎市の緑の課題

2章 緑のまちづくりの考え方 20P 程度

- 1. 緑の将来像
- 2. 計画の目標
- 3. 基本方針
- 4. 緑のネットワークの考え方
- 5. 公園づくりの考え方

3章 緑のまちづくりの取り組み 30P 程度

- 1. 基本方針に沿った取り組み
- 2. 計画推進に向けた重点的な取り組み

4章 地域らしい緑のまちづくり 20P 程度

- 1. 阪急沿線地域
- 3. J R ・ 阪神沿線地域

5章 計画の進行管理 5P 程度

次期計画では資料編へ

次期計画の構成イメージ (本編 約 50 ページ)

序論 2P 程度

- 【基本事項】
- 1. (仮称) 尼崎市緑の基本計画とは、本計画における『みどり』
- 2. 計画改定の視点

みどりの将来像と基本理念 1P 程度

- 1. みどりの将来像
- 2. 基本理念

基本方針と施策体系 4P 程度

- 1. 基本方針および施策体系 (目次を兼ねる)

基本方針 1 みどりで街つなぎ  
『みんなでみどりを使いこなし まちがみどりに溢れ まちの魅力が高まる』

基本方針 2 みどりで人つなぎ  
『みどりで人と人がつながり みどりのために活動する人が増える』

基本方針 3 みどりを未来つなぎ  
『みどりが市民や生き物、環境を守り 安全で快適なまちを持続的に支える』

- 2. (コラム) 尼崎市の緑化の系譜、公園が自由空間であること 等

個別施策と取組み内容 40P 程度 (施策数×2~4P)

- (参考) 基本方針 1 の例
- 施策 1-1 魅力的な公園づくり
- 施策 1-2 街路樹のあり方
- 施策 1-3 質の高いみどりの保全と創出
- 施策 2-1 . . .

※ 取組み内容が視覚的にわかるよう図・イラストを用いて表記  
 ※ 重点施策や地域別の取組みも表記

目標一覧 2P 程度

- 1. 5 年間目標
- 2. 10 年間目標
- 3. 最終目標 等

計画の実現に向けて 2P 程度

- 1. 行動計画の概要
- 2. PDCA サイクル 等

第2回専門部会でご提示

**資料編**

- ・市の概況
- ・現状と課題、将来の見通し
- ・尼崎市のみどりの分布図
- ・各種分析データ、参考資料
- ・計画策定経過、用語の解説



1. 序論 《計画の基本事項》

〈(仮称)尼崎市みどりの基本計画とは〉

市民・市民団体、事業者、行政がそれぞれ関わって、本市が目指すみどりの将来像と今後10年間のみどりの保全や創出に関する取り組みについて、方向性を示した計画です。 〈計画期間：2024年度～2033年度〉

〈本計画における『みどり』とは〉

緑：公園、街路樹、樹林地、民有地の緑、農地、水面などの空間  
みどり：緑に加えて、緑空間を活用した人々の社会活動を含んだもの



〈計画改定の視点〉

視点① みどりの質をさらに高める

みどりが、市民の安全で快適な暮らしや、事業者の良好な事業環境を支えるとともに、自然の防災・減災機能や生物多様性を守るための『みどりの社会基盤（グリーンインフラ）』を保全・創出するために、多様化する市民のニーズに対応し、みどりの質をさらに高める取り組みを進めます。

視点② みんなでみどりづくり

みどりを次世代へ残していくために、市民・市民団体、事業者、行政などの多様な主体や多世代の人々のアイデアや知識を結集し、みんなでみどりのまちづくりの取り組みを進めます。

2. みどりの将来像と基本理念 《10年後のありたい姿、ゴール》

VISION

本計画では、市民・市民団体、事業者、行政が、それぞれ主体的に行動し、まちのみどりへの愛着を深め、住みやすいまち、働きやすいまちと感じ、そして、持続することを目指し、みどりの将来像を以下のとおり設定します。

〈みどりの将来像〉

市民・市民団体、事業者、行政などが、

- ・みどりを身近に感じ、みどりを最大限に利用することで、みどりの価値を高め、そして、まちの価値を高め、住みたい、より良いまちを目指して活動したいと感じる。
- ・一体となって、考え、行動し、これまで培ってきたみどりを未来へ継承していく。

〈基本理念〉 みんなで 創り、守り、つなぐ あまがさきのみどり



3. 基本方針 《将来像と基本理念を実現するための方向性》

POLICY

計画課題を踏まえ、基本理念に沿って将来像を実現するための取り組みの柱となる基本方針を以下のとおり設定します。

〈計画課題〉

- ・時代潮流や市民ニーズに合わなくなっている公園の利活用や、今後を展望した街路樹のあり方の検討が必要
- ・質の高い新たなみどりを創出し、市民のみどりに対する満足度を高めることが必要

- ・みどりや生き物の大切さを知り、貴重なみどりを守り育てる活動のきっかけづくりや支援が必要
- ・みどりに関する情報を、多くの人へ、素早く、効果的に発信することが必要

- ・防災・減災機能を向上させるとともに、生物多様性や環境の保全が必要

〈基本方針〉

基本方針1 みどりで街つなぎ

みんなでみどりを使いこなし

まちがみどりに溢れ まちの魅力が高まる



大庄地域 公園ワークショップ



橘公園 尼崎市民まつり



橋通り 街路樹

基本方針2 みどりで人つなぎ

みどりで人と人がつながり

みどりのために活動する人が増える



中央公園 チューリップ花壇



西武庫公園 花植え活動



尼崎緑化公園協会HP

基本方針3 みどりを未来つなぎ

みどりが市民や生き物、環境を守り

安全で快適なまちを持続的に支える



潮江緑遊公園 防災訓練



協働による雨庭づくり

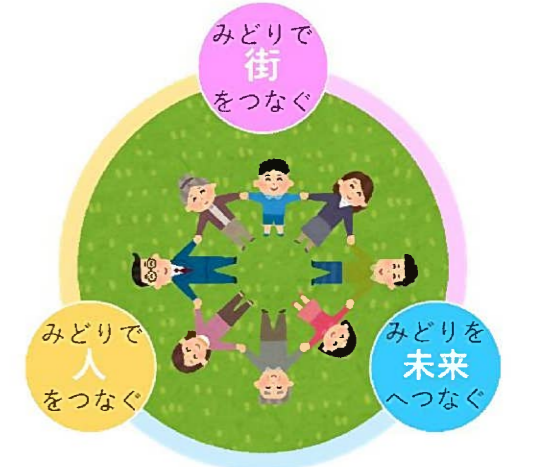


尼崎21世紀の森 地元企業と連携した活動

各主体の役割分担イメージ



各主体の役割分担イメージ





基本方針	施策	取り組みテーマ	主な取り組み	具体例、キーワード	検討中	総合計画の ありたい街	SDGs 目標	施策の視点	役割分担	
						①②③④⑤		関 わ る 活 か す 育 て る つ く る	産 官 民 学	
<b>基本方針1</b> みどりで街つなぎ みんなで みどりを使いこなし まちがみどりに溢れ まちの魅力が高まる	施策1-1 魅力的な 公園づくり	①公園利活用の促進 "公園をもっと使いこなそう"	みんなで考える 公園の新しい使い方 公園をもっと使いやすくするために 誰にでも、安全で快適な公園を	地区別公園利用検討会の開催 民間活用による利便性向上 市民ニーズの把握と検証	市民提案型プロジェクト外の公募 デジタル技術による利便性向上 市民や関係団体との対話	協働型公園づくり	○ ● ○	3 11	● ○ ○ ● ● ○	
		②機能分担の方針 "あなたの公園がどこかにあります"	公園の適切な配置 ニーズに即した公園の機能分け	街のシンボルとなる公園・緑地 既存の公園機能の検証	遠くても行きたい公園・緑地 新たな公園利用ニーズへの対応	身近な公園・緑地 公園リノベーション方針	○ ● ○	3 11	○ ○ ● ● ● ○	
		③適切な公園マネジメント 今後を見据えた公園の運営	公園施設の計画的な維持管理と更新 今後を見据えた公園の運営	施設・設備の管理と更新 民間活用の検討 (Park-PFI等)	地域自主管理の推進 地域連携の拡大 (協働型公園等)	子ども広場の活用	○ ● ○	11	○ ● ○ ● ○	
	施策1-2 街路樹の あり方	④街路樹の適切な管理 危険木の撤去と植え替えの方針 地域と連携した管理	街路樹の状態把握と管理基準の確立 危険木の撤去と植え替えの方針 地域と連携した管理	街路樹データベースの構築 危険木の把握と撤去 アドプト制度等の活用	街路樹が担う役割の整理 撤去後の街路樹整備方針			●	7 15	○ ● ○ ● ● ○
		⑤今後を見据えた 街路樹のあり方	シンボルとなる場所の街路樹 生活に密着した場所の街路樹 生態系ネットワークへの配慮	街並みや地域性の配慮 安全な通行の確保 つながりに配慮した種の保全	にぎわいや魅力の向上 樹種・間隔の適正化 メンテナンス性の確保		○ ●	7 15	● ○ ○ ● ○ ○	
	施策1-3 質の高いみどりの 保全と創出	⑥公共施設の緑化推進 学校等のみどりの活用	樹種・配置などの先導基準づくり 学校等のみどりの活用	景観向上や在来種確保 校舎・校庭のみどり創出	環境保全に有効な緑化の推進		○	4 15	○ ● ● ○	
		⑦民有地の緑化推進 優良事例の選出や支援	事業者とのコミュニケーション 優良事例の選出や支援	緑化推進につながるインセンティブ 表彰制度や支援の拡充検討	緑化基準の改善検討 遊休地の暫定利用の推進	緑化の持続に向けて	○ ○	4 15	○ ○ ○ ● ○ ●	
<b>基本方針2</b> みどりで人つなぎ みどりで 人と人がつながり みどりのために 活動する人が増える	施策2-1 みどりを守り育てる 活動の支援と連携	⑧みどりを守り育てる プラットフォームづくり みどりに関する新たな担い手の確保	みどりに関する専門家の育成 みどりに関する新たな担い手の確保	専門的な講習会の開催 新たな交流を生む機会の提供	ボランティアリーダーの選出と支援 多様な市民等との新たな連携	実証フィールドの提供 子育て世帯へのPR	● ○ ○	4 15	○ ○ ● ○ ● ●	
		⑨多様な活動への支援と連携	市民や様々な団体との連携・協働	21世紀の森プロジェクト 花のまちあまがさきフェスティバル運動 街なみ街かど花づくり運動	花のまちあまがさきフェスティバル運動 運河再生プロジェクト		● ○ ○	17	○ ● ○ ● ● ○	
	施策2-2 みどりの魅力を感じる 情報発信	⑩緑化意識の高揚につながる きめ細やかな発信	魅力あるみどりのPR 様々な広報ツールの活用	行きたくなるスポットづくり 世代間のSNS利用状況の配慮	情報交換できるの場の提供 公園アプリの新規利用	展示会等の充実	○ ●	4 17	● ○ ● ● ●	
		⑪市民や企業との連携	みどりの魅力や体験を自ら発信する人づくり	既存活動団体との連携	情報交換できるの場の提供と 新たな連携先の獲得	企業とのマッチング	○ ○ ●	4 17	● ○ ● ● ●	
<b>基本方針3</b> みどりで未来つなぎ みどりが 市民や生き物、環境を守り 安全で快適なまちを 持続的に支える	施策3-1 市民の安全や 生物多様性を守る みどりの保全と創出 ~グリーンインフラ の保全と活用~	⑫防災・減災に役立つ みどりの保全と創出	緑空間の防災・減災機能の強化 気候変動を踏まえた水害対策	公園の防災・減災機能の向上 公園等の雨水貯留機能の創出	市民管理型の防災空地の創出 防火樹林の確保		○ ○ ●	13	● ○ ○ ● ○ ○	
		⑬貴重なみどりの保全	保護樹木、自然林の保全 水辺、運河の多様なみどりの保全 都市型農地の保全と活用	在来種の保全と創出 水辺のみどりの保全 優良農地の保全	生態系への配慮 水辺の市民開放や情報発信 遊休農地の活用	環境学習の推進 防災機能の活用	○ ○ ●	7 15	● ○ ○ ● ● ○	
		⑭生物多様性や生態系の保全	生物の生息・生育、繁殖空間への配慮 緑のネットワークの保全と創出 在来種の保全と外来種の防除	21世紀の森プロジェクトとの連携 公園街路樹の役割 苗木の里親制度	自然林の保護プロジェクトの推進 保護樹木の役割 稀少植物の公園内保全	農地の役割 アライグマ等防除		○ ●	15	● ○ ○ ○ ○
		⑮みどりを活かした 環境保全への取り組み	ヒートアイランド現象の緩和 樹木や水辺を生かした環境保全	河川等の都市排熱抑制効果 伐採木や剪定葉の再利用	街路樹等による暑熱緩和効果 緑化による温室効果ガス吸収	運河の水質浄化		○ ●	14 15	● ○ ● ○ ○
	施策3-2 持続可能な 実施体制の確保	⑯持続可能な実施体制の確保	持続可能な実施体制の確保	産官民学の役割と相互連携	行政の実施体制の確保 市民や事業者の役割		○ ○ ●	17	● ○ ○ ● ○ ○	